

摘 録

会 議 名 令和3年度第1回刈谷市歴史博物館協議会
日 時 令和3年7月4日（日） 午前10時00分～11時30分
場 所 歴史博物館 1階講座室
出 席 者 協議会委員：西宮秀紀（会長）、堀江登志実、山田孝、真島聖子、金子一郎、岸本浩子、成田年秀（敬称略）
※石橋保尚委員、近藤裕子委員は欠席
事 務 局：加藤謙司（文化観光課長）、田代英徳（歴史博物館長）、中尾理恵（歴史博物館長代理）、河村智美（社会教育指導主事）、長澤慎二（学芸員）、水野節子（学芸員）

内 容

1 あいさつ

2 議題

（1）会長及び会長代理の選出について

委員の互選により、西宮秀紀委員が会長に選出された。

西宮秀紀会長の指名により、堀江登志実委員が会長代理に選出された。

（2）令和2年度の状況について

別紙「令和2年度の状況について」にもとづいて、昨年度の実施概要について説明。

（C委員）①講演会が事前申込制で制限があるが、当日来館した場合はどうするのか。

②次回企画展「戦時下の刈谷」の座談会の事前申込を知らない人がいた。周知が足りないのでは？社会科の先生に広報をしたらどうか。

（事務局）①事前申込で抽選を行っており、当日のキャンセル待ちは行っておらず、当日分は断っている。

②検討する。

（A委員）アンケートの対象は？どのように配布しているか？

（事務局）配布は常置している。また講演会の時の資料と一緒に渡している。

（A委員）現状だと企画展に偏ってしまっているのでは、常設展など通常期のアンケートも積極的に取り、館の運営に活かした方が良い。

（D委員）アンケートの意見を受けとめて、回答を公開し広報したらよいのではないか。館の魅力を向上させることにもなる。

集計グラフを見ると講演会に来ている年齢層は高い。若い世代にも来てもらうアプローチの仕方など工夫したらどうか。例えば、団体受け入れで学校団体も多いので、受け入れの時にアンケートに答えてもらい、どんな講座、講演を希望しているかを拾い上げるなど。

（事務局）博学連携もあり、指導主事もいるので検討していく。

（B委員）研究紀要は博物館の展示活動の他、博学連携も載っていてボリュームがあった。ぜひ活動として続けてほしい。

（A委員）紀要は充実していた。この内容を継続してほしい。

(F 委員) 簡単工作は誰が行っているのか？

(事務局) 会計年度任用職員が行っている。

(F 委員) ここが取っ掛かりとなり、子供が歴史に興味を持つ良い取り組みだと思う。

(3) 令和3年度の予定について

別紙「令和3年度の予定について」にもとづいて、今年度の事業概要について説明。

(D 委員) 小中学生向け子ども歴史体験講座、歴史相談会はどんなことをするのか？

(事務局) 小中学生向け子ども歴史体験講座はバックヤードツアーなど、博物館の裏側を見せる一歩踏み込んだ内容になる。相談会は学校の夏休みに開催し、学芸員による質問対応を行う予定。

(G 委員) ポケット学芸員やホームページなどで展示物の説明はするのか？

(事務局) ホームページでは展示替えの案内位で、ポケット学芸員は今年度から常設展を中心にキャプションに載っていない詳細を説明している。

(B 委員) 豊臣秀次展は興味があるか何故刈谷か？

(事務局) 一時、水野家ではなく豊臣秀次が刈谷領を治めていたことを知ってもらいたい。刈谷とは細い繋がりであるが、そこを糸口に豊臣秀次の人物像を紹介したい。

(A 委員) 「新時代をもたらした」というフレーズに対して、柱を立てるように。秀次は人気があまりないが、膨らませて展示してもらいたい。

(C 委員) 図録は出るのか？

(事務局) 出る予定である。

(C 委員) 井ヶ谷古窯の窯跡調査について。愛知教育大学の中に未確認の窯がある。史跡指定されているものでも滅失しているものもあるのではないか。どこまで確認をするのか？

(事務局) 愛知教育大学の中以外も行う予定。

(C 委員) 今年度で終わるのか？終われないのではないか？

(事務局) 今年度で終わる予定。必要に応じて追加調査も考える。

(E 委員) 中学校の見学もようやく形になってきた。続けていくことが大事。

2 その他

全体を通して、以下の通り意見があった。

(C 委員) 北部の人間はここに来にくい。かりまるはここまで行ってくれない。

コース変更を早めに依頼しないと全く変わらないのではないか？北部・中部・南部と1日1本でもいいから、ここまで来られるように動かしてほしい。

(A 委員) 立地は最初からの懸案事項。刈谷は南北に長くて遠い。工夫しないと人は増えない。改善をするように。

(事務局) 関係課と調整を図っていく。

(A 委員) 常設展の図録はどうなったか？

(事務局) 収蔵品展の解説パンフレットなどはあるが、現状進んでいない。小中学校の副読本と一

緒にという話もある。

(A 委員) 博物館の基本となる。立派な常設展示はできているので、まとめれば良いものになる。

(C 委員) A4 解説シートの追記、修正でできるのではないか？

(A 委員) 常設展図録は博物館の顔となり、アイデンティティであり勲章である。他館に行った時の説明資料ともなる。早急にやった方が良い。